

## 第24回「冬の夏祭り」開催します! 12月1日(土)・2日(日)



主催  
冬の夏祭り実行委員会  
詳細はこちら  
<http://fuyu-natsu.com/>



昨年の様子



よもやま話に花が咲く。えきんぐらがお届けする小ネタ袋。

# 蔵通信

四十号  
2018.11

12/1・12/2は  
冬の夏祭りと絵金蔵をセットで楽しもう!

数量限定 オリジナル泥棒除け  
ステッカープレゼント  
配布期間 12/1(土)-12/12(水)

石川五右衛門が釜煎りになった日とされる「十二月十二日」この日付を書いた紙を逆さまにして家の中に貼ると泥棒除けになるという風習にちなみ、オリジナル泥棒除けステッカーをプレゼント!

第三十九話 釜煎り五右衛門

絵金百話 シリーズ

発行: 絵金蔵運営委員会  
発行日: 2018年11月6日  
〒781-5310 高知県香南市赤岡町538  
TEL/FAX 0887-57-7117  
URL <https://www.ekingura.com>



## 過去と2018年に撮影された写真を大募集! 絵金祭り / 須留田八幡宮神祭 写真コンテスト 作品募集



募集期間  
2018年7月1日(日)-12月31日(月)

主催: 絵金蔵 / 土佐赤岡絵金祭り実行委員会  
後援: カメラのキタムラ 高知新聞社 香南市

## 過去または2018年に撮影された 絵金祭りと須留田八幡宮神祭の写真 大大大募集中!!

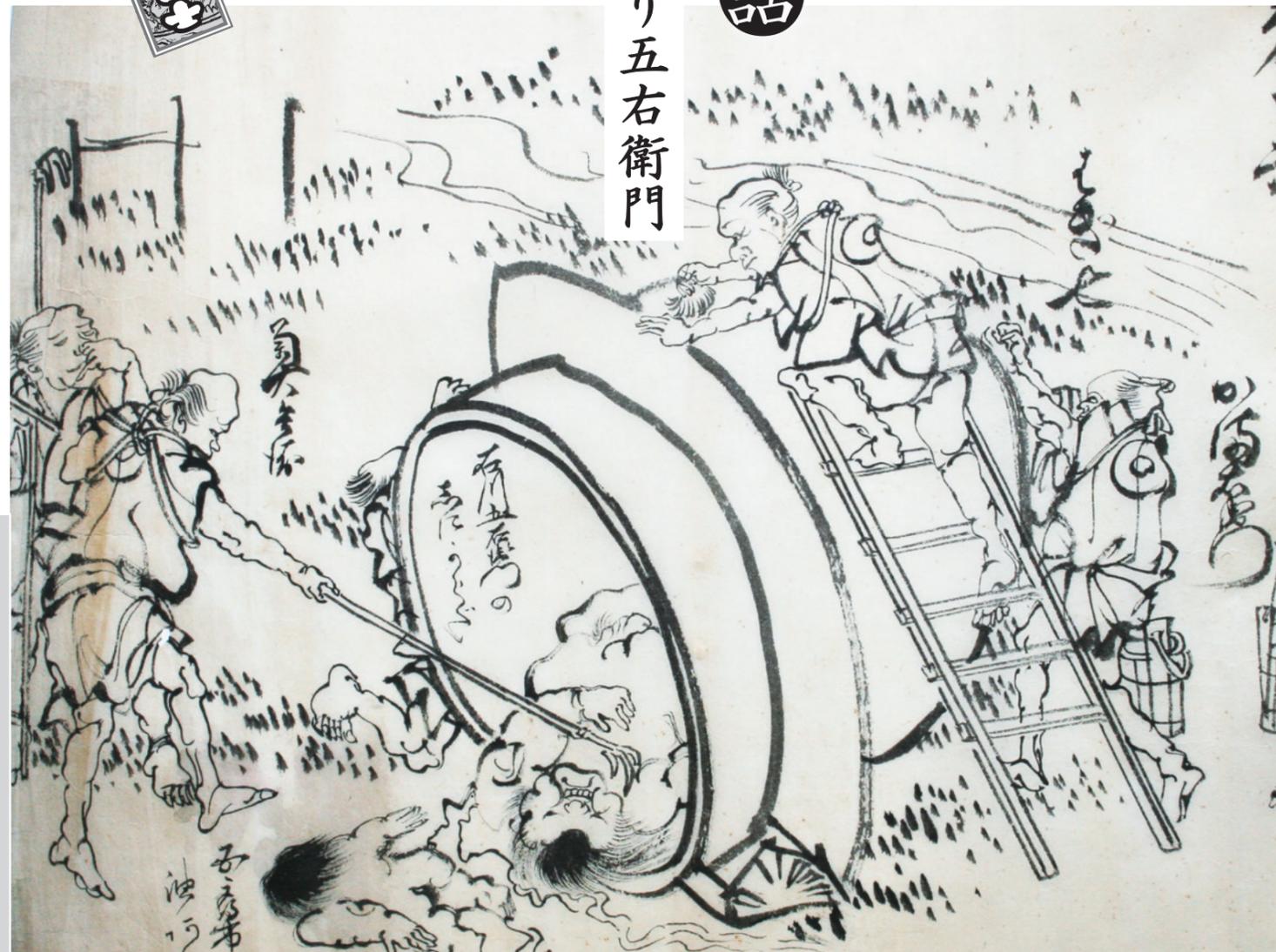
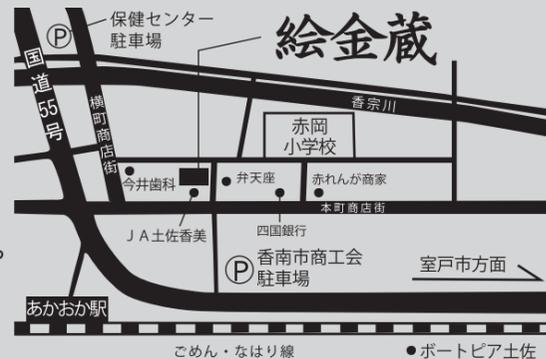
当館では、素晴らしい絵金作品と絵金文化を後世へと繋げていくため、お祭りの様子を写した写真を収集しています。

この度、より多くの方々に関心を寄せていただくため、『絵金祭り / 須留田八幡宮神祭の写真コンテスト』を開催することとなりました。ご応募いただいた写真の中から選出された優秀な作品は、2019年の絵金蔵の夏の特別展にて展示いたします。

詳細は絵金蔵ホームページ、又はお電話にて!  
たくさんのご応募、お待ちしております!!

## 絵金蔵 - えきんぐら - @ekingura

- 開館時間 9:00-17:00(入館は16:30まで)
- 入館料 大人500円(450円)/高校生300円(250円)  
小・中学生150円(100円)※( )内は、15名様以上の団体料金
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)・12/29→12/31, 1/1→1/3
- アクセス ◎車で-高知市はりまや橋から約40分・高知龍馬空港から約10分  
高知自動車道南国ICより約30分/◎ごめんなはり線で-高知駅からあかおか駅まで約40分、駅より徒歩10分
- 電話・FAX 0887-57-7117 〒781-5310 高知県香南市赤岡町538  
URL <https://www.ekingura.com>



## 絵金芝居絵屏風公開修理



前半は無事終了。後半は、  
**11月23・24・25日に行います！**

10月6・7・8日に芝居絵屏風の応急修理（前半）を行いました。制作から160年以上経過した芝居絵屏風は、毎年の祭りでの屋外展示の影響もあり、傷みが目立つようになっていました。そこでこの度、応急的な修理を行っています。今後進めていかなければならない屏風の解体を含む本格的な修理まで、これ以上傷みを進行させないようにするためにとても重要な作業です。

この応急修理を多くの方にご覧いただくことで、絵金そして高知の文化財を守っていく気運を高めたいという思いから、修理作業を一般公開することになりました。後半は11月23・24・25日、ご来館をお待ちしております！

## 絵金百話

第39話 釜煎り五右衛門

かまがふちふたつどもえ  
**「釜淵双級巴」**

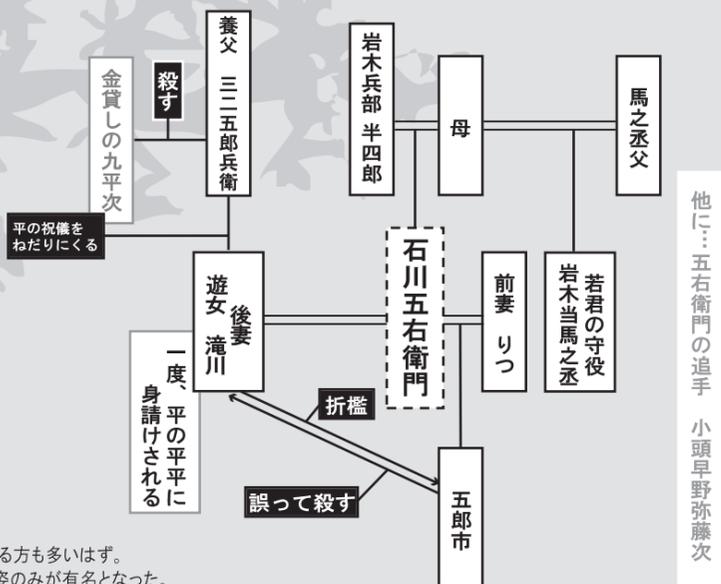
画寸 35.9×48.5cm マクリ（16枚綴り）  
紙本墨画 香南市 個人蔵

### 概要

日本で最も有名な大泥棒・石川五右衛門。その人物は江戸時代から人気が高く、数多く劇化されてきました。今回取り上げる『釜淵双級巴』は1737年7月に時代物の人形浄瑠璃として大坂・豊竹座で初演された並木宗輔の作品です。その後1756年9月に歌舞伎化、大坂・姉川大吉座で脚色上演されました。本作の特徴でもある「マクリ」と呼ばれる作品形式は書画を冊子状にまとめた形式で、本作では16枚綴りとなっています。

この主人公である石川五右衛門は、スペイン人貿易商のアビラ・ヒロンが記した報告書「日本王国記」にも紹介されている戦国時代に実在した泥棒ですが、登場する浄瑠璃や歌舞伎によって異なったあらゆるイメージが追加され、私たちがよく知るキャラクターとして今日まで残っています。そんな中本作では、金のために罪を重ねるなど悪党的な性格を持ちながらも、「葛籠背負ったがうれしいか※」と言いながら、息子五郎市をあやす父親としての顔も描かれており、「秀吉の命を狙う人物」あるいは「大明国の遺児」であったとする伝奇的な人物として描かれた人物像ではなく、江戸中期以前の、人間味ある姿を見ることができます。

### 【人物相関図】



何の因果か別れた実の親側の者に、息子と共に釜煎りの刑に処されるという壮絶な最期を遂げますが、本作では物語の後日談のような形で、釜煎りにされた後の体が膨れ上がった親子の姿が描かれ、壮絶な最期とは相反するような、どこかブラックユーモア漂う表現になっています。

※石川五右衛門といえば葛籠を背負っている姿を思い浮かべる方も多いはず。もともとは息子をあやす時の様子だったが、いつしか葛籠姿のみが有名となった。

### 寄付のお願い

《『旧赤岡町の土佐芝居絵屏風 保存修理事業』へのご寄付を募っています》  
本格的な修理が実現できますよう、皆様からの温かいご支援をお願いいたします。  
寄付金受付専用のゆうちょ銀行口座と、絵金蔵にて募金箱を設置しています。

#### ■ゆうちょ銀行にて

口座からまたは現金にてご送金下さる方

記号：16470 / 番号：15523441  
名前：アカオカエキンビョウブホゾンカイ

#### ■ゆうちょ銀行以外から

各口座からまたは現金にてご送金下さる方

店名：六四八（ロクヨンハチ） / 店番：648  
預金種目：普通預金 / 口座番号：1552344

### ◆◆1月からの展示◆◆

### お正月企画・初夢で逢えたら

会期：平成31年1月4日(金)-2月3日(日)

絵金の長男・房太郎が養子となった家に伝わる艶やかな掛軸「お正月様図」を中心に、福の気配ただよう縁起物が描かれた作品をご紹介します。  
絵金さんからの新年のご挨拶です。



# いろいろ五右衛門さん

## ◇注目するのは髪形◇

右上の作品は、今まさに釜煎りにされる直前の場面を描いた作品で、五右衛門の前妻で五郎市の実母・律も駆けつけています。では髪型に注目してみましょう。現在では五右衛門を主人公とする「楼門五三桐」という歌舞伎でも目にしますが、五右衛門の髪型は「百日鬘」あるいは「大百日」と呼ばれる月代（額から頭頂部にかけて剃り上げた部分）がボサボサに伸びた髪型をしています。この髪型は五右衛門のような大盗賊や妖術使いなどに用いられています。

つまり「百日鬘」は五右衛門だと私たちに教えてくれるアトリビュート（描かれている人物が誰なのかを明らかにする為の持ち物やアイテム）と言えます。この髪形のおかげで、私たちは誰が五右衛門なのか、初見でも見つけることができます。しかしこれは一般論であり、もちろん例外もあります。右の作品「木下蔭狭間合戦」では公家に変身している場面のため烏帽子をかぶり、逆に「百日鬘」ではない貴重な五右衛門の姿となっています。



▲ 釜淵双級巴 七条河原釜煎り  
二曲一隻屏風 / 紙本着色 / 133.3×138.0 cm  
高知市鴨部 郡頭神社棒打絵馬保存会所蔵



▲ 木下蔭狭間合戦 石川五右衛門  
二曲一隻屏風 / 紙本着色 / 176.0×161.0 cm  
香南市赤岡町本町2区所蔵

芝居絵屏風『木下蔭狭間合戦』の白描（スケッチ）。本画の下絵や、絵金が弟子たちに与えた画手本のうちのひとつと考えられています。絵の中で特に重要な部分の手本でしょうか。

本作「釜淵双級巴」は高岡郡佐川町の丹生神社と奈半利町にある絵金の弟子・広田竹甫の子孫宅に伝わる作品と酷似しており、本作も手本にしたと考えられます。

◀ 木下蔭狭間合戦 石川五右衛門  
白描 / 紙本墨画 / 37.0×50.0 cm  
香南市香我美町個人蔵



# 釜淵双級巴の はじまり、はじまりー

全 16 枚に渡って五右衛門の出生から最後までを描き切っている本作。現在歌舞伎としてほとんど上演されていないため、『紀海音 並木宗輔 浄瑠璃集』と『名作歌舞伎全集 六』をもとにあらすじをご紹介します。

五右衛門の息子五郎市が継母にいじめられる『継子いじめ』（本作の⑨）と、五右衛門と五郎市が辿りつく壮絶な最期である釜煎りのくだり（本作の⑮）が著名とされています。どちらも悲壮な場面ではありますが、どうぞ注目くださいませ。

## ① 五右衛門出生のひみつ

本編では描かれていない五右衛門の父と母の姿。逢瀬を重ねている場面だろうか。奥女中であった母は、着飾った姿で五右衛門の父にしだれかかる。父は仕官の身であり、\*庚申の日に身ごもったとされる五右衛門を捨てる。その後、五右衛門は河内国の農家に育てられる。右上には三目一面六臂の愛染明王らしき姿が見える。（上之巻）

※庚申の日に身ごもった子は泥棒になると言う民間伝承がある。



## ② 場面は大きく転換 大人になった五右衛門といえば

河内国枚方の美豆野の牧（現在の大阪府と京都市の境辺り）で三位中将を親に持つ若殿が鹿狩りをしていた。その際、逸れ矢を拾った石川五右衛門は乞食の老婆を母親に仕立てあげ、その矢で傷ついたと称して、五十両をだまし取る。



## ③ 悪党同士の金の取り合い

若君が去ったあと、老婆は傷を負っているにも関わらず、その五十両欲しさに乞食仲間を五右衛門に差し向ける。五右衛門は老婆を殺した後に、五十両をもって島原へ向かい、場面は島原へと移る。



高知県下に残る「石川五右衛門」が描かれた作品たち



#### ④ あの五十両で遊郭遊び！

舞台は島原の廓・燕尾屋。

廓の主人の傳六は上客相手に腰が低い。左手に見えるのは、平の平平と五右衛門。たまたま平平と同船した五右衛門はそのまま平平のお供として店にくる。

このとき平平は、後に五右衛門の後妻となる女性滝川を身請けする。



#### ⑤ かわいそうな平平

滝川の養父である三二五郎兵衛が登場。

五郎兵衛が平平に祝儀金三十両をせびるところに金貸しの九郎次が現れ、今度は五郎兵衛に金をせびる。口論となり五郎兵衛が九郎次を殺す。自分が九郎次を殺したことにしようとする滝川を五右衛門が制し、この場面の後、平平をまるで九郎次と相打ちしたかのように見せかけて殺し、平平に罪を擦り付ける。

#### ⑥ いざゆかん！個性豊かな手下たち



五右衛門率いる夜盗が、とある家に盗みに入ろうとしているところ。

籠灯で今から入る家を照らし、仲間たちに指示をしているかのように見える。討ち入りに行くかのような装束と、個性的な手下が滑稽さを誘う。

(中之巻)

#### ◆ 籠灯 ◆

江戸時代のランプの一種。正面のみを照らして持つ人の顔が見えないことから強盗提灯ともよばれる。

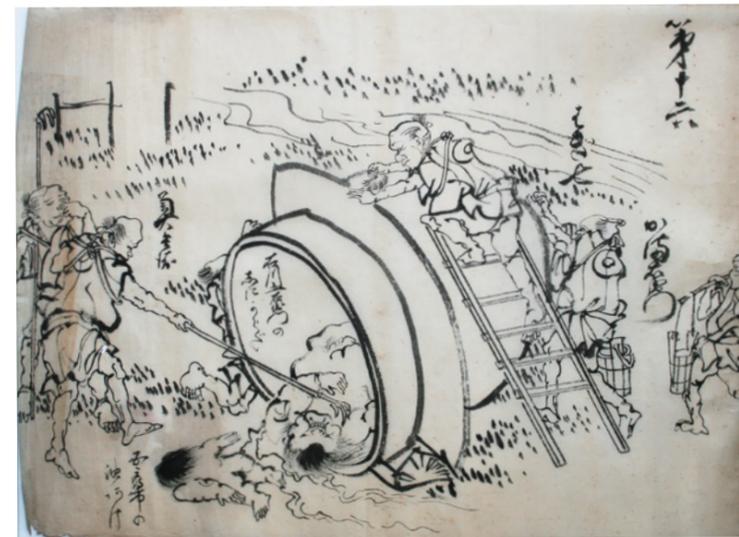
#### ⑮ ついに最期の時…！



ついに捕まった五右衛門親子。二人が大釜に入れられる様子を前妻の律が見ている。大量の油で煮えたぎる釜の中で、息子を高く持ち上げて「浜の真砂は尽きるとも世に盗人の種は尽きまじ」と時世の句を言い放ち、身を沈める。

浜の真砂は尽きるとも  
世に盗人の種は尽きまじ

#### ⑯ 泥棒親子のなれのはて



物語のその後、歌舞伎の本編では上演されない場面。

ブクブクに膨れ上がった体になった五右衛門と五郎市。漂う腐臭に耐えかね、鼻をつまんでいる者がいる。処刑後、釜を磨く者達が早速作業に取り掛かっている姿が、無惨さを強調している。

参考文献：

『紀海音 並木宗輔 浄瑠璃集』、株式会社博文館、1929年10月15日

『名作歌舞伎全集 六』、株式会社東京創元社、1988年1月25日

『歌舞伎登場人物事典（普及版）』、株式会社白水社、2010年7月10日

『日本架空伝承人物事典』、株式会社平凡社、1986年12月12日

『歌舞伎辞典』、株式会社平凡社、1993年4月1日

『絵金資料調査報告書 第1集』、香南市・絵金蔵運営委員会、2013年3月31日

『絵金蔵収蔵品目録』、香南市、2010年3月31日



## ⑪ 親子二人旅へ…

五郎市が誤って斬り殺してしまった滝川の傍らで悲しむ五右衛門と五郎市親子。

滝川は今際の際で、五郎市を折檻していたのは盗人の汚名を着るのを憐れみ、わざと辛くあたっていたためだと明かす。親殺しだとしてお上へ注進しようとした五郎兵衛を五右衛門が殺し、さらに現れた浮気相手の源五郎も殺される。その後、二人は家を離れる。



## ⑫ 生き別れた親子の再会

路銀ろぎんがなくなった五右衛門はたまたま通りがかった岩木兵部ひょうぶに刀を売りたいと願ひ出る。差し出された刀を見た兵部は、その刀がかつて自分が捨てた息子に持たせたものであると気づく。互いに親子と気づきながらも、立場ゆえに名乗らずに別れる。

## ⑬ 実父への義理立て

おとりもの  
藤の森大捕物の場。

五右衛門親子のもとに追手の小頭こがしら早野弥藤次はやの やとうじが来た後に、捕縛の役目を兵部が買って出る。最後は兵部の養子当馬之丞と五右衛門の対決となるが、兵部に義理立てした五右衛門親子は、ついに捕縛される。



## ⑭ 大立ち回り！

追手の小物に応戦する五右衛門。

背後に沢山の追手が見える。上之巻の乞食の老婆が登場する場面やこの直前 (⑬) の場面同様、画面中央に据えられた松の幹が作品により一層躍動感を感じさせている。

## ⑦ 垣間見える優しい心

盗みに入ったのは当馬之丞の家。そこにはなんと五右衛門の前妻の律、傍らには実子五郎市も。まだ二人が何者であるか気づいていない五右衛門だが、にこにここと笑う幼子を見て、「葛籠背負たがおかしいか」などといってつついあやしてしまう。その後律が目を覚ます。

つつら背負たがおかしいか



## ⑧ ふたりの真実

そこへ柳の馬場の浪人となっていた当馬之丞が、隠れていた庭から登場。五郎市を連れて帰ろうとする五右衛門と取っ組み合いになる。このとき、五右衛門がかつて五十両を騙り取られた相手であること、自分たちが義兄弟であることが明らかとなる。全てを知った当馬之丞は、手水鉢で刀身を折り、五郎市を五右衛門に渡して立ち去らせる。



## ⑨ 五右衛門不在の家では

五右衛門は滝川と所帯を持つ家へ五郎市を連れ帰るが、滝川はことあるごとに五郎市に辛く当たり折檻する。そんな中、五郎市は滝川が五右衛門の盗賊仲間である源五郎と浮気するのを覗き見てしまう。滝川は五郎市を折檻しており、いわいる「継子いじめ」。滝川が針仕事をしているのは、お定まり（慣例）のかたち。



## ⑩ 成敗するぞ！ ヤア！

五郎市は継母の浮気相手である源五郎を成敗しようとしたところ、誤って継母である滝川を斬り付けてしまう。障子の破れたところから滝川の手だけがのぞく。五郎市の横には、たまたま金の催促に来ていた滝川の父である三二五郎兵衛が驚いてひっくりかえっている。

